令和８年度　　西が岡小学校　学校評価書

１　教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重の教育を基盤に自ら学び，自ら考え，主体的に判断して生きていくことのできる，心身ともに健康で，心豊かな，たくましい児童を育成する。

＜目指す児童像＞

⑴　明るく元気な子ども（体力・気力）

⑵　よく考えて学習する子ども（創造力）

⑶　心豊かで思いやりのある子ども（責任・思いやり）

２　学校経営の理念（目指す学校像含む）

全職員が和と協力，熱意，そして人間尊重の精神を基盤に『生きる力』を育む教育に取り組み，新しい時代の教育に向けた持続可能な活力に満ちた特色ある学校経営を推進することで，教育目標の達成を目指す。そのために，児童・保護者・地域住民等と協和して創意と工夫・活力に満ちた教育活動を展開する。

＜目指す学校像＞

⑴　楽しく充実したみんなと生きる学校

⑵　子どもと教師がともに育つ学校

⑶　地域とともに歩む笑顔あふれる学校

＜合言葉＞　元気いっぱい　夢いっぱい　笑顔あふれる　西が岡

３　学校経営の方針（中期的視点）　※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（１）安全安心な学校づくり

安全管理の徹底といじめの未然防止に努め，全員が安心して活動できる環境を保証する。

（２）自己肯定感を育む学級経営

互いを認め合う「居心地のよい学級」をつくり，自信と意欲をもって自分のよさを発揮できるようにする。

（３）確かな学力の向上

一人一台端末をフル活用し，基礎の定着と「自ら学ぶ態度」を育む主体的・対話的な授業を展開する。

（４）豊かな心の育成

道徳・読書・体験活動を通じ，生命と人権を尊ぶ心や，豊かな創造性を育成する。

（５）児童指導の充実

全職員が方針を共有して信頼関係を築き，規範意識と基本的生活習慣の確立を目指す。

（６）体力向上と保健安全・食育の充実

進んで運動に親しむ指導と，健やかな体を支える食育・保健指導を家庭・地域と連携して推進する。

（７）小中一貫教育の推進

○宝木地域学校園での「認め励ます指導」と交流を通じ，児童の自尊感情を高める。

（８）特別支援教育の充実

多様性と人権を尊重し，個々の特性に応じた支援力を高める教育環境を整える。

（９）教職員の資質の向上

学び合いを通して資質を磨き，「チーム学校」として組織的に課題へ対応し，信頼される集団を目指す。

(10) 地域とともにある学校づくり

地域の教育力を生かした連携・協働を推進し，よりよい社会の一員として行動する児童を育てる。

(11) 業務量管理・健康確保措置の実施

教職員一人一人がやりがいをもって，創意工夫された各種教育活動を展開するとともに，効果を維持した上で業務の効率化・適正化を図る。

【目標】

１　教員の時間外在校等時間を一か月で４５時間以内，一年間で３６０時間以内とする。

（令和１４年度末）

２ 児童生徒と向き合う時間を確保できている教員の割合９０％を目指す。（令和１４年度末）
３ 時間外在校等時間が一か月８０時間を超える教職員の人数０人を目指す。（令和９年度末）

「宝木地域学校園教育ビジョン」

「いきいき宝木」心豊かな宝木っ子の育成を目指します。

～他を思いやる心や規範意識を育み，基本的生活習慣や主体的に学ぶ態度を身に付けさせる指導の充実～

４ 教育課程編成の方針

（１）日本国憲法・教育基本法・学習指導要領などの関係法令，および栃木県・宇都宮市の教育振興計画等に基づき，公教育の立場を堅持し，本校の教育目標達成に向け，全領域において調和と統一のある教育課程を編成する。

（２）児童の実態や学校の特色，地域社会の豊かな教育力を生かして，知・徳・体の調和がとれた人間性，豊かで「生きる力」を身に付けた児童の育成を目指した教育課程を編成する。

（３）本年度の重点目標や学校課題，具体的な努力事項を教育課程の中に明確に位置付け，学校教育の活性化を図る創意工夫を生かした特色ある教育課程を編成する。

５ 今年度の重点目標（短期的視点）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

（１） 学校運営

○一人一人が努力したり，よさを発揮したりできる教育活動を存分に取り入れた上で，認め励ます教育を推進し，児童の自己肯定感を育成する。

・特別活動（学校行事・縦割り班活動・委員会活動・クラブ活動・学級活動等）を軸に全教育活動を通して，児童が主体的に取り組むことができる活動を意図的に設定し，児童の主体性を育てる。

・教職員一人一人がやりがいをもって，創意工夫された各種教育活動を展開するとともに，効果を維持した上で業務の効率化・適正化を図る。

（２） 学習指導

・学習規律を土台としつつ，全教科で「西が岡スタイル」の思考ツールやICTを活用した視覚化支援を充実することで，基礎・基本の定着と主体的・対話的で深い学びを推進する。特に，市の平均を大きく下回っている理科における考察力や，学年が上がるにつれて課題となっている各教科の領域における学習内容についての改善を図るため，国語科で培った論理的に文章を構成する力や資料活用能力を他教科の学習に活かしていく。

・一人一台端末の効果的な活用や特別支援教育の視点に基づいた指導法である「構造化」を生かし，個別のつまずきを確実に救い上げ，全児童が「分かった」という達成感と学ぶ楽しさを実感できる質の高い授業づくりに努める。

（３） 児童指導

○「よい子の一日」を活用するとともに，具体的な活動を通して「明るいあいさつ」「正しい言葉遣い」「きまりを守る態度」の育成に努める。

○自己統制力を高めて，良好なコミュニケーションの下，他者と協力してよりよく生きようする児童の育成に努める。

（４） 健康（体力・保健・食育・安全）

・学校生活における安全を念頭においたルールの徹底を図り，避難訓練等の実施を通して自身の安全を守るための判断力や実践力を育成する。

・体育，保健，食育指導の連携を深めるとともに家庭と連携を図りながら，自己の生活習慣（保健・安全・食習慣・体力）を意識して自ら正しく判断して行動する児童を育成する。

６　自己評価　A1～A21は市共通評価指標　B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充　B継続　C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組に関わる内容は，文頭に〇印または該当箇所に下線を付ける。

第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評　価
１－（１）確かな学力を育む教育の推進	Ａ１　児童は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，学習課題を解決するために，友達と話し合ったり，必要な情報を集めたりしながら，じっくり考え，進んで学習に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童９０％以上	①　児童が自分の考えを広めたり深めたりするような学習場面で一人一台端末を活用し，主体的に必要な情報を活用して学習に取り組めるようにする。 ②「聞き方・話し方・姿勢」を掲示し，意識付けを図る。 ③「リレー自学ノート」を活用し，他の友達のよさを実感しながら，進んで自主学習に取り組めるようにする。 ④「西が岡スタイル」による「分かる，できる」を実感できる授業の展開に努める。 ⑤　学校図書館や市立図書館の「巡回図書」や一人一台端末を活用し，児童の情報活用能力の育成を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
１－（２）豊かな心を育む教育の推進	Ａ２　児童は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，誰に対しても，思いやりの心をもって優しく接している。」における肯定的回答 ⇒児童９０％以上	①　体験活動と関連を図った道徳科，探究活動の過程に体験活動を位置付けた総合的な学習の時間の授業を実施し，生命や人権を尊重する心や思いやる心などを涵養する。 ②　ボランティアによる読み聞かせや読書週間を計画的に実施し，豊かな感性の育成を目指した読書活動を推進する。 ③　縦割り班による異学年の交流活動を設定し，上級生が下級生を助けたり励ましたりするとともに，班員が互いに助け合いながら，「西岡タイム」の活動を進めることを通して，思いやりの心を育てる。 ④　生命尊重や人権尊重に関する各教科等の学習を授業参観で公開したり，親子学習で取り上げたりして，保護者への啓発を行い，親子で思いやりについて考える機会を設ける。 ⑤　人権週間に標語や作文を書いたり，人権について考える集会活動を実施したりすることで児童や教職員の人権意識を高めていく。		【達成状況】 【次年度の方針】

	Ａ３　児童は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，夢や目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童８５％以上	①　児童の自己肯定感を高められるよう，児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに，担任も認め励ます指導に努める。 ②　授業において，児童が目標をもって取り組む機会を設けるとともに，課題の解決に向けて自分から進んで考え，試行錯誤しながら課題を解決しようとする態度を称賛する。 ③　道徳の授業において，目標をもって粘り強く取り組むことの大切さに気付かせるとともに，日常生活における道徳的な実践に向けた意欲を高める。 ④　キャリアパスポートや振り返りカードを活用して，振り返りを行い，各種行事における達成感を味わえるようにする。 ⑤　学校での活動により児童が満足感・達成感を感じた様子を，学校だより等を通じて保護者に発信し，児童の成長を共有する。		【達成状況】 【次年度の方針】
１－（３） 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	Ａ４　児童は，健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，健康や安全に気を付けて生活している。」における肯定的回答 ⇒児童９０％以上	①　休み時間の過ごし方や廊下の歩行，登下校時の歩行について，自分で考えて安全に行動できるよう日常的に安全指導に努める。 ②　生活チェックシートを活用して，児童に自らの生活を振り返らせるとともに，その取組を家庭にも共有する。 ③「おべんとうの日」には，発達段階に応じたワークシート等を活用して栄養のバランスに配慮した献立が立てられるよう支援する。 ④　委員会活動を通して，上級生を中心に児童が自ら健康や安全について考える場を設定し，学校全体で生活場面で実践する機会を設ける。		【達成状況】 【次年度の方針】
１－（４） 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	Ａ５　児童は，自分のよさや成長を実感し，協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，自分のよさや考えを生かしたり，周りと協力し合ったりして，進んで生活をよりよくしようとしている。」における肯定的回答 ⇒児童８０％以上	①　宮・未来キャリア教育に関わる活動を生活科，総合的な学習の時間等の年計へ位置付けし，系統的に学習する。 ②　学級活動や係活動，委員会活動などにおける実践的な活動を通して自分の役割を意識し，問題を主体的に解決し，生活をよりよくしようとする意識を高める。 ③　地域人材やボランティアを活用し，仕事や職業観についての話を聞く機会や体験的活動を設定して，学習や生活と職業とを関連付ける。 ・２分の１成人式（４年） ・夢いっぱい教室（６年） ・町探検（２年） ④　特別活動で，キャリアパスポートへの活動記録を残し，自己の成長を自覚させる。		【達成状況】 【次年度の方針】

2－（1） グローバル社会に主体的に向き合い，郷土愛を醸成する教育の推進	Ａ６　児童は，英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，外国語活動(英語）の授業やALTとの交流の際に，英語を使ってコミュニケーションしている。」における肯定的回答 ⇒児童８０％以上	①　低学年では学級担任とALTのT・Tにより「聞く・話す」中心の指導を行い，毎時「目的のあるやり取り」の場面を設定して発話機会を確保する。単語や身振りによる成功体験を価値付けて自信を育む。さらに高学年では，段階的に「読む・書く」を加え，デジタル機器の活用で負担を軽減しながら，英語を道具として使いこなす成功実感を味わわせ，系統的なコミュニケーション能力の育成を図る。 ②　職員研修で英語の教材開発やICTを活用した指導法の工夫や改善などを行い，授業力の向上を図る。 ③　ALTによる絵本の読み聞かせを行ったり，季節に応じたイベントを実施したりして，英語に親しみやすい雰囲気づくりを行う。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ７　児童は，宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，宇都宮の良さを知っている。」における肯定的回答 ⇒児童８０％以上	①　生活科，社会科，総合的な学習の時間の学習や，市内や地域での校外学習等において，学習内容に関連させながら児童が身近な地域や宇都宮市のよさに気付く指導に努める。 ②　宮っ子伝統文化教室等の体験的な学習を計画的に実施し，郷土宇都宮の歴史や伝統文化を理解する学習を実施する。 ③　下野民話の会の方の読み語りと連携し，宇都宮に関する民話を聞く機会を設け，伝統文化に慣れ親しませる。 ④　宇都宮のよさについて，各教科等の学習の中でも関連付けて取り上げ，授業参観で公開したり，家庭学習で取り上げたりして，親子で宇都宮のよさについて考える機会を設ける。		【達成状況】 【次年度の方針】
2－（2） 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	Ａ８　児童は，デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，パソコンや図書等を学習に活用している。」における肯定的回答 ⇒児童８５％以上	①　「一斉学習」，「個別学習」，「協働学習」それぞれの学習場面において，デジタル機器を活用した効果的な学習指導に努める。 ②　児童が授業においてデジタル機器や図書資料を活用して，情報を収集・整理・発信する活動を充実させ，それらを活用する能力の育成を図る。 ③　家庭学習において一人一台端末の活用を図る。 ④　学校図書館の環境整備に努め，学習内容に関連する図書資料を計画的に準備し，国語の教材や総合的な学習の時間の調べ学習等に役立てる。 ⑤　朝の学習において読書の時間や読み聞かせなどの読書活動を計画的に位置付けたり，図書だよりを発行したりするなどして児童の読書意欲を喚起する。		【達成状況】 【次年度の方針】

2－（3） 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	Ａ９　児童は,「持続可能な社会」について，関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は,「持続可能な社会」について，関心をもっている。」における肯定的回答 ⇒児童９０％以上	①　各教科・総合的な学習の時間等における環境に関連する学習内容を通して，児童の発達段階に応じた教材分析や授業づくりを行い，持続可能な社会づくりの実現に向けて，児童の見方・考え方を育成する。 ②　学習した取組を「SDGs17 の目標」に関連付けながら実践できる機会を学級活動や委員会活動・縦割り班活動等で意図的に設ける。 ③　具体的な SDGs に関する学習への取組状況や持続可能な社会に関する学習の様子を保護者に学校ホームページ等で周知し，家庭と連携することにより，児童の関心をさらに高めていく。		【達成状況】 【次年度の方針】
3－（1） インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	Ａ10　教職員は，特別な支援を必要とする児童の実態に応じて，適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は，特別な支援を必要とする児童の実態に応じて，適切な支援をしている。」における肯定的回答 ⇒教職員９０％以上	①　校内支援会議を計画的，または必要に応じて開き，個に応じた具体的な支援について協議し，共有して組織的な体制で対応する。 ②　全教職員が様々な視点から児童を観察し，特別支援教育コーディネーターを中心に支援の必要な児童について状況の把握・情報の共有を行い，かがやきルーム担当者と連携しながら学級での支援を充実させる。 ③　SC や外部機関と連携して,個に応じたよりよい支援の在り方について検討し，指導や支援に生かしていく。		【達成状況】 【次年度の方針】
3－（2） いじめ・不登校対策の充実	Ａ11　教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は，いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」における肯定的回答 ⇒児童９０％以上	①　教育相談を年間２回，アンケートを年４回実施し，児童の実態の把握と問題行動の早期発見に努める。 ②　人権週間，いじめゼロ月間，いじめゼロ集会を実施するとともに，保護者にも公開し啓発に努める。 ③　いじめ防止に関する資料や学校での取組を懇談会や学校便り，学校ＨＰなどで地域や保護者に積極的に発信する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ12　教職員は，不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は，一人一人を大切にし，児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」における肯定的回答 ⇒児童９０％以上	①　児童の自己肯定感や安心感が高められるよう声掛けを行う。 ②　不登校対策やいじめ対策を兼ねて，児童指導について情報交換会を実施し，全職員が情報を共有する。 ③　電話連絡や家庭訪問等で保護者との情報交換を密に行い，学校生活の不安解消を図る。 ④　状況に応じて SC を積極的に活用することで，多様な支援体制による児童及び家庭支援，児童一人一人の状況に応じた適切な働きかけを行う。 ⑤　Q-U 検査結果や教育相談等で実態を把握し，不登校未然防止に努めるとともに，不登校の発生時には SCM や児童指導主任を中心とした対策委員会を実施し，方針を共有し，全校体制で支援を行う。		【達成状況】 【次年度の方針】

3－（3） 外国人児童生徒等への適応支援の充実 3－（4） 多様な教育的ニーズへの対応の強化	A13　学校は，一人一人が大切にされ，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は，困ったときに相談に乗ってくれたり，問題を解決しようとしたりして，私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている。」における肯定的回答 ⇒児童９０％以上	①　学校行事や児童会活動に児童が主体的に取り組む場を設定し，適切な指導・支援・助言をすることにより，児童の達成感・自己肯定感を高める。 ②　ペア学習やグループ学習などの多様な学習形態を取り入れたり，体験的活動の場を設定したりして，児童の意欲を高める。 ③　年間４回実施する学校生活アンケートを効果的に利用し，必要に応じて児童と面談を行い，継続的に児童の実態の把握と問題の早期発見に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
4－（1） 教職員の資質・能力の向上	A14　教職員は，分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い，学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく，一人一人に丁寧に教えてくれる。」における肯定的回答 ⇒児童９０％以上	①　全職員共通理解のもと今年度の学校課題の研究を進める。 ②　授業研究を行い，指導方法の工夫・改善や指導力の向上を図り，きめ細かな指導を実施する。 ・西が岡スタイルの実践 ・一人一授業公開 ・授業改善チェックリストの活用 ・ヒントカードや教材提示の工夫 ③　学校での児童の学習の取組の状況や教職員の研究の様子などについて，学校ホームページで取り上げ，学校での学力向上に向けた研究の様子を家庭に周知する。 ・「学習チャレンジ週間」の実施 ・西が岡小「家庭学習のすすめ」の配付 ④　ノートやワークテスト，プリントなどに励ましやアドバイス・コメントなどを入れ一人一人の意欲を高める。 ⑤　学力向上推進リーダーと連携を図り，教員の授業力向上や児童の学習意欲の向上を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
4－（2） チーム力の向上	A15　学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる教職員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒教職員８５％以上	①　職員会議や打合せ等において各教育活動の計画を確認し，活動の目的や育てたい児童の姿等を明確にし，全職員が共通理解を図ることで，よりよい指導・支援に向けて協力して取り組む体制づくりを進める。 ②　校内における児童の安全を確保するための見回りを職員全体で役割分担を図りながら行う。 ③　全職員が職員会議等で児童の情報交換を計画的に行い，指導や支援の体制について共通理解を図り，組織的・計画的に児童の健全育成を進める。 ④　学校行事等において役割を明確に分担するなどして，同僚性を発揮しながら取り組むべき業務を設定する。		【達成状況】 【次年度の方針】

４－（３） 学校における働き方改革の推進	Ａ16　勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，教職員の勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒教職員８０％以上	①　職員研修等において働き方改革の意識付けと具体的な取組の共通理解を図り，教職員一人一人が，業務の効率的な実施や計画的な処理に努める。 ②　ポータルサイトや学習情報システム等を活用して，業務を効率的に遂行できるようにする。 ③　職員会議の協議事項や打合せの口頭説明事項を精査して効率化を図るとともに，学校行事の運営の仕方等について見直し，業務改善を行う。 ④　学校リフレッシュデーを設定し，教職員が積極的にリフレッシュデーの運用に関われるようにする。 ⑤　ミライムによる出退勤時刻の把握を通じたマネジメントの実践に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ17　児童と向き合う時間を確保できている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，児童と向き合う時間を確保できている。」における肯定的回答 ⇒教職員８０％以上	①　児童と向き合う時間を確保するために，打合せを週１回にしたり，金曜日の研修を行わない等，各種活動や日課の工夫・改善を図る。 ②　ワークライフバランスの実現を目指したり，教職員の意見を生かし，業務の見直しを図ったりしながら，児童と向き合う時間を確保する。		【達成状況】 【次年度の方針】
５－（１） 全市的な学校運営・教育活動の充実	Ａ18　学校は，「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は，小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」における肯定的回答 ⇒保護者８５％以上	①　乗り入れ授業，教科分科会，６年生の進学先中学校訪問等を，目的を明確にして効果的に実施する。 ②　行事や児童会活動・集会活動等での交流を実施し，その様子を情報発信していく。 ・あいさつ運動 ・音楽朝会での発表 ③　「地域学校園の日」を活用して研修や情報交換を行い，地域学校園全体での共通課題の達成を目指す。 ・宝木学校園「生活のきまり」 ・自主学習の推進 ・学習のきまり		【達成状況】 【次年度の方針】
５－（２） 主体性と独自性を生かした学校経営の推進	Ａ19　学校は，家庭・地域・企業等と連携･協力して，教育活動や学校運営の充	①　ＰＴＡや地域協議会等と連携し，各教科・領域で充実した体験活動を		【達成状況】 【次年度の方針】

５－（３） 地域と連携・協働した学校づくりの推進	実を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は，家庭・地域・企業等と連携・協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。」における肯定的回答⇒保護者９０%以上	推進する。 ・ふるさと教室（昔遊び・昔の暮らし） ・読み語り（陽だまりの会・下野民話の会等） ・学習会・農業体験（田植え，稲刈り） ・町探検，ミシンボランティア等 ② 行政や企業と連携した出前授業を実施し，知識や技術，課題解決の方法などを専門家から直接学ぶ機会を設定し，教育内容の充実や多様化を図る。 ・工場見学（カルビー） ・人権教室 ・モノづくり教室（日産） ・上下水道局 ・薬物乱用防止 ・リコーダー教室 ・歯磨き教室 等 ③ 地域人材を活用し，系統的なねらいを明確にしながら，豊かな感性と郷土愛を育てる学びの充実を図る。		
６－（１） 安全で快適な学校施設整備の推進	Ａ20 学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」における肯定的回答⇒保護者９０%以上	① 毎月，校舎内外の施設，設備等の安全点検を実施し，危険箇所については迅速な改善や修繕に努める。 ② 危機管理マニュアルを整備するとともに，避難訓練や引渡し訓練等を通して，火事，地震，竜巻，不審者侵入等の不測の事態への備えを万全にするとともに，緊急時避難体制について，保護者や関係機関，地域の防犯組織や安全ボランティアに学校ホームページや通知等により周知し，実効性のある危機管理体制の構築を図る。 ③ 感染症予防対策，熱中症予防対策，インフルエンザ予防対策など，時期に応じた保健指導管理に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
６－（２） 学校のデジタル化推進	Ａ21 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から，授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，授業（授業準備を含む）や業務に，デジタルを積極的に活用している。」における肯定的回答⇒教職員９０%以上	① 児童がデジタル機器を活用して，情報を収集・整理・発信する能力を育成するため，デジタル機器等の積極的な活用を図る。 ② デジタル機器を利用した授業を積極的に行い，ICT 支援員を活用する等をして情報を共有する研修を行い，授業力向上を図る。 ③ デジタル機器の活用に関連する図書資料や研修資料を教職員間で共有したり，機器を計画的に準備したりするなど，環境整備に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】

小・中学校，地域学校共通，本校の特色・課題等	Ｂ１　児童は，時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，時と場に応じたあいさつをしている。」の肯定的回答 ⇒児童９０％以上	①　進んであいさつをする態度を養うために，代表委員を中心とした朝のあいさつ運動やあいさつ大賞等の児童の取組を主体とした活動を実施し，全校児童があいさつし合う場を設ける。低・中学年の自主的な参加を推進する。 ②　中学校との合同あいさつ運動を活性化し，より多くの児童が積極的に運動に参加できるようにする。 ③　本校のあいさつ運動を学校便りや懇談会で保護者や地域の方々に周知する。 ・家庭での習慣化 ④　地域に向けたあいさつについて，学年に応じて，学級単位で定期的な指導を継続するとともに，家庭にも協力を呼び掛ける。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ２　児童は，きまりやマナーを守って，生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，きまりやマナーを守って，生活している。」の肯定的回答 ⇒児童８５％以上	①　全職員の共通理解のもと，朝会・全校集会で全校児童に話をしたり，発達段階に応じて各学級で指導したりして，基本的生活習慣の定着を図る。 ・休み時間の過ごし方 ・授業の始まりの準備 ②「よい子の一日」の周知徹底を図る。 ・廊下の歩行（右側を静かに歩く） ・終業のあいさつと次時の準備 ・遊び方の共通理解 ・清掃中，清掃後の指導の徹底 ③　生活目標を活用し，スモールステップで目標を達成できるようにする。 ・よかった点を各学級において帰りの会等で称賛する。 ・児童指導主任や代表委員児童が放送等で呼び掛ける。		【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題等	Ｂ３　教職員は，健康・体力面での適切な個別指導をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生は，健康や運動の大切さについて，熱心に指導してくれる。」における肯定的回答 ⇒児童９０％以上	①　体力チェックや生活アンケートを実施し，個別指導に生かす。 ・外遊びの奨励と日常的な運動による体力づくり ・朝の１分間運動の実施 ・歯磨き指導 ・姿勢の改善と視力向上に関する意識付け ・各種検定の実施 ②　給食・保健委員会を活用し，健康に関する児童の意識を高めていく。		【達成状況】 【次年度の方針】

	Ｂ４　児童は，授業で習ったことを復習するなど，自主学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，宿題や習ったことを復習するなど進んで家庭学習に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童８０％以上	①　西が岡小「家庭学習のすすめ」を活用し，学年に応じた家庭学習の習慣化を図る。 ・音読と個に応じた宿題の徹底 ・発達段階や個に応じた自主学習の進め方の指導 ・家庭学習の時間・やり方・内容の提示 ・学級懇談等での保護者への啓発 ・一人一台端末の活用 ②　自主学習の例を掲示して，よい取組を児童や保護者に知らせていく。 ・昇降口前の掲示（学習チャレンジ週間） ・リレー自主学習（全学年）		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ５　縦割り班活動を積極的に行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，たてわり班活動に積極的に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童９０％以上	①　異学年の交流活動を上級生がリーダーになって主体的に行い，思いやりの心を育てる。 ・花はなタイム ・元気っ子体力チェック ・遊友タイム ・清掃活動　等 ②　班対抗のゲームや活動を取り入れて，継続的に高学年がリーダーとなる場づくりを推奨する。 ・遊友タイム ・企画委員会との連携 ③　各班で活動の目標の確認と振り返りをその場で行い，高学年からは他学年のよさを称賛する時間を設ける。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ６　児童は，学習や仕事を通して，自己有用感を育み，自己肯定感を高めている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，学級や学年，学校の役に立つように，進んで学習や仕事に取り組み，周りから認められている。」における肯定的回答 ⇒児童８５％以上	①　各教科等の学習において，一人一人に役割があるグループ活動の機会を設定し，助け合って活動する経験を積ませる。 ②　特別活動（児童会活動，学校行事，学級活動（係活動）等）において，友だちや異学年児童との関わりの中で，自分の役割を果たすことにより活躍する機会を設ける。 ③　特別活動等において，自治的な活動を計画的に行い，自身の活動の成果（自分の活動が何にどう貢献したか等）を記録したり，友達の活躍（どう周囲の役に立ったか等）を伝えたりする振り返りの工夫を行う。		【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7　学校関係者評価

８　まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に〇印または該当箇所に下線を付ける。